平成27年度熊本支部総会のご報告

平成27年9月27日久留米大学附設高等学校同窓会熊本支部総会、新入生歓迎会および懇親会を、ホテル日航熊本にて開催いたしました。

今回は附設高校より、名和長泰教頭先生にお越しいただき、ご挨拶と、校舎第１グラウンドより撮影された「ダイヤモンド高良山」の写真に校歌が印字された絵はがきを出席者全員にプレゼントしていただきました。

また、昨年に引き続き福岡支部長の松雪恵津男先輩(22回生)も出席され、ご挨拶いただきました。

社会人は10回生から43回生まで37名、学生は55回生から63回生まで24名(含む：新入生６名、57回生-１名、61回生-１名、62回生-３名、63回生-１名)に、名和教頭先生を含めて計62名が出席いたしました。

総会では、寺嶋隆則支部長(14回生)の挨拶の後、講演会をはさんで、活動報告、活動計画、理事・評議委員会の報告、会計報告および監査報告、また27年度役員改選について承認をいただきました。

本部理事兼評議員の江頭 有朋幹事(30回生)からの本部理事会に関する報告では、同窓会費を在学時より集めるようになったので今後納入率は100%になる、ということ。まだ生涯会費を納めていない会員は支払ってほしい、というお願い。同窓会会長が長谷川房夫先輩から川嶋文信先輩(19回生)に引き継がれた、と報告があり、また、同窓会本部にはさらに経済的に各支部を応援するように要請したい抱負が語られました。

昨年に引き続き、今年は同窓会会員の中から２名、永芳 友 君(57回生)と柴垣 正仁先輩(37回生)に講演していただきました。

熊本大学医学部５年生の永芳君は「精神遅滞の分子機能の解明を目指して」という演題で、今年３月に開催された、第４回「サイエンス・インカレ」において最優秀賞にあたる文部科学大臣表彰を受賞した研究発表と同じ内容で講演していただきました。

脳の仕組み、特に精神疾患に関しては解明されていないことが多く、或る特定の遺伝子が学習能力や記憶に重要なものであることに着目し、マウスを使った実験(バーンズ迷路実験など)を通して、たんぱく質の生成の低下と、学習能力の低下を引き起こすことを、実験データを基に紐解いていかれました。

今後は、ｉＰＳ細胞を用いて精神遅滞発症の抑制に繋がる研究を進めていくということで、この研究が非常に有益で多くの人を救うものとなり得る期待感と同時に、永芳君のチャレンジ精神と地道な努力に至極感嘆した次第です。

もう一人の講演者の柴垣 正仁先輩は、現在熊本市議３期目で、今年４月に行われた市議会選挙中央区選挙区にてトップ当選を果たされました。今回は「これでいいのか熊本？ ここはいいんだ熊本」というテーマで、熊本市のＩＲ資料や決算資料などを用いながら、熊本市の概要・現況について丁寧に説明していただきました。

また、政令指定都市に移行したことで生じたデメリット(例：期日前投票の場所)解消の取り組みや、高齢化社会を見据えた公共交通の再デザイン、といった市政の諸課題を福岡など他の都市との比較を絡めながら論じていただき、これらの課題の解決には行政(市および県)と市民との対話・意思疎通が重要であることを強調されていたのが印象に残りました。

総会・講演会に引き続き行われた新入生歓迎会および懇親会では、開会挨拶にて副支部長の片渕 秀隆先輩(22回生)が、「衝動は成功の入り口」「継続は力なり」という２つの言葉と、若い間は何でもできて、「夢」をかなえるために高い意識を持つことが大事である、という新入生に対する激励の言葉をかけられました。

名和教頭先生のご挨拶で特に多くの人の関心を引いたのが、久留米大学附設高校の変わったところ、変わっていないところについてのお話ではなかったかと思います。

変わったところでは、高校が男女共学になって10年、当時の高校の女子生徒は輝いていた、という点。また、男女共学３年目となった中学の運動会の風景は、生徒の三分の一が女子となり、もはや「普通の」学校の運動会となっている、ということでした。

一方、変わっていないところは、高良山と一生懸命勉学に励む学生の姿であり、これまでの先輩方の良き伝統を受け継いで、数多くの在校生が実社会の各方面の様々なレベルで活躍される人材に育っていくのは間違いないだろう、という確信を改めて実感しました。

例年乾杯の音頭を取られていた、江藤 正俊先輩(27回生)が10月より九州大学医学部教授に着任されるということで、６年４ヵ月間の熊本大学医学部でのご勤務や同窓会熊本 支部副支部長を務められた感謝を込めて、花束が贈呈されました。

今年度の支部総会も、当日たまたま同ホテルでの別の集まりにいらして同窓会支部総会の案内を見てそのまま参加していただいた先輩や、県外の筑紫野市や柳川市から駆け付けてくださった方、また新入生のほとんどが２次会まで残っていただいたことなど、寺嶋熊本支部長が総会開会の挨拶で指摘されていた、若い人たちの工夫などで熊本支部がさらに活性化していくことを実感するような会ではなかったか、と僭越ながら感じた次第です。

添付にて、支部総会、講演会、新入生歓迎会(懇親会)および２次会の模様の写真を掲載しておりますので、ご覧いただけますと幸甚です。

文責 佐枝真次(43回生)

出席者(敬称略、回生)

(社会人)

牛島　健一郎(10) 小林　清市(13) 寺嶋　隆則(14) 川﨑　博(16) 砥上　幸一郎(17) 片渕 秀隆(22) 松雪 恵津男(22) 城　隆一郎(22) 原　正史(24) 山下　裕也(24) 山田 晋一 (24) 豊福　士文(25) 中川　弘彰(25) 江藤　正俊(27) 増田　隆二(27) 高群　博之(27) 村上 稔(27) 沢畑　亨(28) 柳 文治(29) 岡　千利(29) 池澤 誠(29) 江頭　有朋(30) 一口　修(31) 中村　英夫(31) 横溝　博(31) 坂田　敬(32) 岡部　明宏(32) 石原　光二郎(33) 吉良　朋広(33) 村上　尚彌(33) 江上　博和(33) 古賀　暢浩(33) 川野　尚(34) 柴垣 正仁(37) 市原　敦史(39) 佐枝　真次(43) 松尾 勇児(43)

名和 長泰(教頭先生）

 計38名

(学生)
野村　知礼(55) 鷲見　仁志(57) 山口　晃世(57) 永芳 友(57) 原 佑碩(57)日高　美和(57) 山村 修司(57) 福田 凌平(57) 的場　啓五(60) 松永　光平(60) 木村　太一(60) 杉　悠太(60) 守口　文花(60) 園田 慎一郎(60) 賀来 岳(61) 掛地　由貴人(61) 山村　稔朗(61) 松崎　恵里奈(61) 徳永　成晃(61) 浅原 裕樹(62) 井口 祐希(62) 河野 俊裕(62) 橋本 諒司(62) 矢野 裕子(63)

計24名